

社会インフラ用センサシステム セキュリティ特別調査専門委員会

企業視察や講演会を通して、社会インフラ技術はセンサ技術の応用などによって著しく発展しており、センサから得られたデータは地域の防災や減災に役立てられているのが現状です。また、AIやIoTなどの情報システムの発展に伴い、社会インフラで得られたデータも情報システム技術を活用して遠隔監視や長期モニタリングなどに利用されつつあります。一方で、社会インフラから得られるデータは、非常に秘匿性の高いデータが多く、情報化社会の現代において、そのデータの安全性は担保されるべきものであると考えられます。したがって、今後あるべき社会インフラの姿は、社会インフラにおけるセンサ技術・データ解析技術と、情報システムにおけるデータセキュリティ技術との融合が必要不可欠であると考えます。

以上の調査結果は、電気学会全国大会のシンポジウムで報告するとともに、調査結果はE部門の論文集特集号として10月号に刊行予定です。

社会インフラに関連した技術調査および企業視察を実施し、それらの調査結果は講演会・シンポジウムを開催して情報発信を行ってきた。

【企業のヒアリングおよび技術調査】

- 2015/ 3/ 6 : 独立行政法人 情報通信研究機構
- 2015/ 7/31 : 電力中央研究所 システム技術研究所
- 2016/ 7/15 : 株式会社浜松ホトニクス 中央研究所
- 2016/ 8/ 4 : 株式会社イートラスト
- 2017/ 7/27 : 東京大学大学院 榎研究室
- 2017/10/20 : グローバルフレンドシップ株式会社
- 2017/11/13 : 寿精版印刷株式会社
- 2017/12/13 : グローバルフレンドシップ株式会社

【講演会等】

- 2015/11/20 : 第1回研究会
- 2016/11/25 : 第2回研究会
- 2017/11/17 : 第3回研究会
- 2016/ 8/ 4 : 第1回講演会

【シンポジウム】

- ・平成28年 電気学会 全国大会（2016/3/16, 東北大学）
「社会インフラ用センサシステムセキュリティの現状（H3）」
- ・平成29年 電気学会 全国大会（2017/3/17, 富山大学）
「防災における社会インフラ用センサシステムセキュリティの現状（H5）」
- ・平成30年 電気学会 全国大会（2018/3/16, 九州大学）
「社会インフラにおけるセンサシステムセキュリティの現状と将来（H5）」

【E部門誌 特集号】

- ・平成30年10月号
テーマ「社会インフラセキュリティのためのセンサシステム」